

メルマガ バックナンバー

国産繭・生糸サポーター事務局は、国産繭・生糸を応援してくれる皆さまに向けて、メールマガジンにより、蚕糸に関するイベントや WEB 情報等を配信しておりますので、ぜひご覧ください。

バックナンバーに掲載されている URL については、配信当時のものとなるため現在はリンク切れとなっている場合があります。

スマホで閲覧の際は、下記の各回配信の文字をクリックしても当該メルマガに移行しませんので、お手数ですがスクロールして閲覧してください。

2026年

[2026/3/5 第3回 配信・・・1](#)

[2026/2/6 第2回 配信・・・3](#)

[2026/1/16 第1回 配信・・・5](#)

【2026年3月号 第3回】

このメールマガジンは、国産繭・生糸サポーターの皆さまに配信しています。



【目次】

- ・大日本蚕糸会からのお知らせ
- ・イベント情報
- ・蚕糸WEB情報



大日本蚕糸会からのお知らせ

◆3月14日は「蚕糸の日」

昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が宮中御養蚕を開始した明治4年（1871年）の第1回の掃立日（はきたてび）に由来します。

※掃立とは、卵から孵化した蚕を飼育場所に羽ぼうきで掃き下ろす飼育開始の作業のこと。

◆3月は「蚕糸月間」

蚕糸会では、3月を「蚕糸月間」として蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや国産繭・生糸の付加価値向上等の取組みを関連イベントとして蚕糸会のホームページで公開しています。

蚕糸の日/蚕糸月間 URL : <https://silk.or.jp/business/silkday/>

◆国内の危機的な蚕糸業を知りたい方はこちら

[蚕糸業の現状について](#)

◆国産繭・生糸サポーターのウェブサイト

<https://silk.or.jp/supporter/>

イベント情報

◆蚕糸の日 2026 フォーラム

主催：（一財）大日本蚕糸会/（一社）日本サステナブルシルク協会

日時：令和8年3月13日（金）

場所：東京ウイメンズプラザ ホール（B1階）（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

参加費：無料（事前登録制）⇒満員御礼

なお、フォーラムの様子は後日講演録や動画として蚕糸会ホームページにて公開予定です。

詳細 URL : [蚕糸の日 2026 フォーラム](#)

◆映画「マダム・ソワ・セヴェンヌ」

内容：桑の栽培と養蚕から染め、織りに至るまで3年の歳月をかけて挑んだシルクを巡る長編ドキュメンタリー映画

①先行上映劇場：京都シネマ（京都市下京区水銀屋町620 COCON KARASUMA3F）

上映期間：令和8年3月27日（金）～4月2日（木）

詳細 URL : <https://www.kyotocinema.jp/>

②上映劇場：ポレポレ東中野（東京都中野区東中野4-4-1 ポレポレ坐ビル地下）

上映期間：令和8年4月4日（土）～24日（金）

詳細 URL : <https://cinesco-studio.com/news.php>

◆現在開催中、開催予定のイベントについてはこちら

<https://silk.or.jp/business/related-event/>

蚕糸WEB情報

- ・ [【論説】 持続的な養蚕業の確立 国産絹の意義考えよう](#)
- ・ [農業ビジネスの一案としての「桑茶」。桑栽培から加工・販売まで、モデルケースに学ぶ。](#)
- ・ [養蚕から染色、織り、仕立てまで、すべて山形 反物が近く完成](#)
- ・ [「ぐんまシルク」認証ロゴマークが新しくなりました（蚕糸特産課）](#)
- ・ [日本の養蚕が消滅の危機？ 今、私たちができること](#)
- ・ [養蚕、過去最少113戸 25年度 高齢化で100戸割れ目前](#)
- ・ [「猫神様」文化を発信する「猫神祭」宮城・丸森町](#)
- ・ [工女の食生活とみそに焦点 岡谷蚕糸博物館で企画展 長野県岡谷市](#)
- ・ [南信州の蚕都を巡る旅 シルクスタンプラリー 開催！](#)
- ・ [遺伝子技術が生んだ「スーパーシルク」、鋼鉄の5倍強いクモ糸への挑戦がもたらす素材革命](#)
- ・ [坂東玉三郎が語り担う「マダム・ソワ・セヴェンヌ」4月公開、池田理代子らのコメント到着](#)
- ・ YouTube [「5年後、10年後にはなくなってしまうのでは」日本の養蚕業が危機 戦前](#)

[には世界一の輸出量も過去最少 113 戸に](#)

【サポーター向け情報提供について】

サポーターの皆さまからのイベント情報等を共有・発信する場として、本メールマガジンにて「サポーターからのお知らせ」と題して情報を取りまとめ、配信いたします。イベント情報等ございましたらメールにてお問い合わせください。[\(メルマガ規約第5条参照\)](#)

■□■ ————— ■□■

お問合せ／メルマガ掲載希望／配信停止はこちらにご連絡ください。

国産繭・生糸サポーター事務局（一般財団法人大日本蚕糸会）

Email : silk-info@silk.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6階

■□■ ————— ■□■

[TOPへ戻る](#)

【2026年2月号 第2回】

このメールマガジンは、国産繭・生糸サポーターの皆さまに配信しています。



【目次】

- ・大日本蚕糸会からのお知らせ
- ・イベント情報
- ・蚕糸WEB情報



大日本蚕糸会からのお知らせ

◆国産繭・生糸サポーターのウェブサイトを新設しました。

<https://silk.or.jp/supporter/>

◆国内の危機的な蚕糸業を知りたい方はこちら

[蚕糸業の現状について](#)

◆3月は「蚕糸月間」

蚕糸会では、3月を「蚕糸月間」として蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや国産繭・生糸の付加価値向上等の取組を関連イベントとして募集し、蚕糸会のホームページで公開します。

「蚕糸の日」の趣旨に賛同いただける方は、①イベントのタイトル、②イベントの内容、③主催者、④連絡先を記載して、2月13日（金）までにこのメールにてご連絡ください。（昨年イベント情報は下記のURLに掲載されています。）

蚕糸の日/蚕糸月間URL：<https://silk.or.jp/business/silkday/>

イベント情報

◆講演「シルクが切り拓く未来材料の新たな可能性」

講師：東京農工大学科学博物館 館長 中澤靖元

主催：シルク博物館

日時：令和8年3月1日（日）

場所：シルク博物館 ホール（横浜市中区山下町1番地）

参加費：1,000円（入館料込、事前申込制・先着順）

詳細URL：[シルクが切り拓く未来材料の新たな可能性](#)

◆蚕糸の日2026フォーラム

主催：（一財）大日本蚕糸会/（一社）日本サステナブルシルク協会

日時：令和8年3月13日（金）

場所：東京ウイメンズプラザ ホール（B1階）（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

参加費：無料（事前登録制）

詳細URL：[蚕糸の日2026フォーラム](#)

◆現在開催中、開催予定のイベントについてはこちら

<https://silk.or.jp/business/related-event/>

蚕糸WEB情報

- ・[世界における養蚕業の現状（中国）](#)
- ・[【第1回養蚕かるた大会開催！！】駒ヶ根シルクミュージアム](#)
- ・[養蚕から製造販売まで二人で紡ぐ座繰りの生糸](#)
- ・[2月6日は「久米島紬の日」](#)
- ・[長田さんに蚕糸有功賞 八王子市内唯一の養蚕農家](#)
- ・[御嶽海関へ特別制作の着物を贈呈 染色作家・林部貢一氏と株式会社たちばなが協働](#)
- ・[自然に寄り添う爽風 現代の名工 秋山真和 作品展](#)
- ・[カイコで世界の健康課題に挑む、モルス佐藤亮CEOが描く“予防医療”の新産業](#)
- ・[江戸時代より美しいシルクを AIは養蚕をどうアップデートするのか](#)
- ・[工女の生活アニメ化へ 慶応大藤田ゼミプロジェクト 最新生成AIで制作](#)

【サポーター向け情報提供について】

サポーターの皆さまからのイベント情報等を共有・発信する場として、本メールマガジンにて「サポーターからのお知らせ」と題して情報を取りまとめ、配信いたします。イベント情報等ございましたらメールにてお問い合わせください。（[メルマガ規約第5条参照](#)）



お問合せ／メルマガ掲載希望／配信停止はこちらにご連絡ください。

国産繭・生糸サポーター事務局（一般財団法人大日本蚕糸会）

Email : silk-info@silk.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6階



[TOPへ戻る](#)

【2026年1月号 第1回】

このメールマガジンは、国産繭・生糸サポーターの皆さまに配信しています。

この度、大日本蚕糸会は、日本の蚕糸業に対する支援の輪が広がることを目指して、国産の繭・生糸に対する思いを同じくする「国産繭・生糸サポーター」制度を創設しました。

今後、このメールマガジン（原則毎月一回）を通して、蚕糸に関するイベントやWEB情報等をお送りしますので国産繭・生糸に対する理解を深めていただければと思います。

また、サポーターの皆さまが企画しているイベント情報を他のサポーターにお送りすることもできますのでメールにてお問い合わせください。（[メルマガ規約第5条参照](#)）

■□■

【目次】

- ・大日本蚕糸会からのお知らせ
- ・イベント情報
- ・蚕糸WEB情報

■□■

大日本蚕糸会からのお知らせ

◆雑誌「[シルクレポート](#)」令和8年1月号No.88を発行しました。

◆国内の危機的な蚕糸業を知りたい方はこちら

[蚕糸業の現状について](#)

◆3月は「蚕糸月間」

蚕糸会では、3月を「蚕糸月間」として蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや国産繭・生糸の付加価値向上等の取組を関連イベントとして募集し、蚕糸会のホームページで公開します。

「蚕糸の日」の趣旨に賛同いただける方は、①イベントのタイトル、②イベントの内容、③主催者、④連絡先を記載して、2月13日（金）までにこのメールにてご連絡ください。（昨年イベント情報は下記のURLに掲載されています。）

蚕糸の日/蚕糸月間URL：<https://silk.or.jp/business/silkday/>

イベント情報

◆和文化シンポジウム～畳・花・茶・着物四業界の未来への取組～

主催：農林水産省

日時：令和8年2月10日（火）

場所：農林水産省講堂（7階）（東京都千代田区霞が関1-2-1）

参加費：無料（事前登録制）

詳細URL：[和文化シンポジウム](#)

◆蚕糸の日2026フォーラム

主催：（一財）大日本蚕糸会/（一社）日本サステナブルシルク協会

日時：令和8年3月13日（金）

場所：東京ウイメンズプラザ ホール（B1階）（東京都渋谷区神宮前5-53-67）

参加費：無料（事前登録制）

詳細URL：[蚕糸の日2026フォーラム](#)

◆現在開催中、開催予定のイベントについては下記のURLから

<https://silk.or.jp/business/related-event/>

蚕糸WEB情報

- ・糸にとどまらない“多用途シルク戦略”スマート養蚕の山鹿シルクの現在地
- ・学校キャラバン 価値学び故郷の自慢に富岡製糸場世界遺産伝道師協会会長
- ・純国産絹糸「プラチナボーイ」プロジェクト20周年記念展「源（みなもと）」開催
- ・「食べるシルク」効果期待 アパレル会社（大翻）が開発
- ・捨てられていた西陣織の「絹の涙」 帯を織る前から売れるビジネスモデル
- ・富岡製糸場煙突工事現場公開 保存修理26年度完了目指す
- ・大和で小正月の風習再現 かつて養蚕農家で行われた「繭玉団子飾り」
- ・コオロギ食ブームではバッシングも…信州“昆虫食の聖地”に残る食文化 カイコ入りポップコーン、蜂の子フィナンシェに見る「受け継がれる伝統」

■□■

■□■

お問合せ/メルマガ掲載希望/配信停止はこちらにご連絡ください。

国産繭・生糸サポーター事務局（一般財団法人大日本蚕糸会）

Email：silk-info@silk.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

■□■

■□■

[TOPへ戻る](#)